

特集

青森県民医連

第56回定期総会開催

五月二十二日（日）、第五十六回定期総会を開催しました。今年はZOOMを用いたオンライン開催となりましたが、今までおこなってきた集合形式での定期総会と同じ流れで議題が進行していきましました。佐藤県連事務局長から運動方針が提起されたあと下館県連次長より決算・予算報告がありました。その後、全体会では代議員十六名から発言がありました。午後からはブレイクアウトルームで八つの分散会を実施、今後の二年間の運動方針について討議・確認しました。大多数の代議員が主体的となつて日頃の医療・介護・福祉活動を発言用紙にまとめて参加され、全体会・分散会ともに大いに交流することができました。役員選挙はグループフォームを利用して代議員に投票をしていただきました。理事会から

提案された運動方針案、決算・会計監査報告、予算を満場一致で採択され、第五十六期新役員も全員信任されました。その後、第一回理事会が開催され常任理事も決定しました。さらに、特別決議「九条改憲阻止！改憲発議を許さず、平和憲法を守り活かす政治をめざそう」も確認され、伊藤副会長から「学習すること、そして実践するということ」を大切にして、職員一人ひとりが成長できるよう二年間がんばっていきましょう」と閉会のあいさつをいただきました定期総会は終了しました。

初めての試みとなったオンラインでの定期総会は、大きなトラブルもなく滞りなく議事が進行しました。進行途中には、今年入職した医師十名を含む十八名の初期研修医一人ひとりの自己紹介動画が流されました。

① 憲法と平和を守るたたかいでは、改憲発議を許さず、憲法をまもるたたかいを置く、憲法と平和を守りぬく運動に取り組みます。

今後二年間の活動方針

佐藤眞人 事務局長



② 民医連医療を担う医師の確保と養成では、フルマツチを実現しました。次なる目標は三年目以降の県連定着です。次世代を担う医師を迎え入れ、定着してもらうことが必要であるため、医師の働き方改革について組織的な対応をすすめます。

③ 経営課題は、医療・介護活動の到達点や前進の度合いおよび社会保障制度改善のたたかいと表裏一体です。全職員参加の経営を実践し、経営活動の前進を図るため五つの重点方針の実践に向けて取り組みます。

④ 九条改憲をストップさせる運動に総がかりで取り組み、人権としての社会保障、いのちを守る社会保障運動の前進を旺盛にすすめます。

⑤ 医療・介護・福祉活動の重点は、多職種協働の力で「医療・介護活動の二つの柱」をより豊かに実践し、「ケアと倫理」が貫かれた無差別・平等の医療・介護サービスの提供を目指します。

⑥ 主体的に共同組織や住民と共にまちづくりに参加し、ヘルスプロモーションやSDHの視点で、安心して住み続けられるまちづくり活動に関わりましょう。事業所と共同組織が丸となり、更に地域の他団体と連携しながら平和で健康なまちづくりに取り組みましょう。

⑦ 職員育成指針の視点で「職員育成指針二〇二一年度版」を実践し、民医連綱領を担う職員育成をすすめます。

⑧ 世代交代がすすむ中、高い倫理観と変革の視点を持った事務幹部養成に取り組みます。また全日本民医連および北海道・東北地協が主催する事務幹部養成学校へ積極的に参加し、全国的な連帯強化を目指します。

⑨ 県連は理事会を先頭に綱領・運動方針を実践するために、各種委員会に諮問し、法人事業所と一緒に進めます。青森民医連は結成し間もなく七十年を迎えます。県連機能ミナモトを全面実践し、法人事業所の自覚的結束をはかり、県連の団結を強めていきます。

⑩ 県連の将来を展望する第四次中長期計画が求められています。この間の到達を踏まえ、三十年来となる県連中長期計画を早期に提案できるよう議論を再開します。

新会長あいさつ

田代 実会長



第五十六期の新しい理事会を信任していただきありがとうございます。私と佐藤事務局長とのコンビも二期四年になります。時々二人で「県連機能とは何か」について議論しています。以前、全日本民医連副会長をされていた京都民医連・吉中丈志先生から民医連事業所の諸活動というのは四つの軸で整理すると良いと教わったことがあります。四つの軸というのは医療、運動、経営、人づくりです。①各事業所で展開している毎日の医療・介護・福祉の具体的な実践的な活動。②平和や社会保障充実を目指す民医連運動。③事業継続発展の裏付けをはかる経営活動。④すべてを支える職員育成。民医連の諸活動は民医連綱領を指針とした各事業所主体の取り組みです。県連事務局や県連理事が主体的に活動しているのではなく、主体は各事業所と各職員の活動



であると考えます。各事業所の活動は医療・介護・運動・経営・人づくりの分野で日々展開されています。県連の役割は、各事業所での民医連の事業や運動を物心両面で支え、その事業所の運動が前進できるようにすることではないかと考えています。新理事会は力を合わせてこのような視点で県連機能を高め、各事業所における民医連の事業と運動を皆さんと共に進めていきたいと改めて決意しています。すべての事業所で多くの職員の力に依拠して青森民医連の諸活動に取り組んでいきましょう。これからの二年間よろしくお願ひします。



2

2022年度通常総代会

津軽保健生協

第97回通常総代会

6月17日（金）津軽保健生協第97回通常総代会が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年同様出席総代数や日程を縮小しての開催となりました。

今年度も出席総代数を制限し半日で終了する日程で行いました。今年度は次期理事体制の提案などを含め全5議案が提案されました。限られた時間と総代数ではありましたが、活発な討議が繰り広げられ、すべての議案が賛成多数で採決されました。その後開催した第1回理事会において選任された伊藤真弘新理事長よりあいさつと新任理事・監事の紹介があり、退任された安田肇前理事長よりあいさつと退任理事の紹介がありました。総代会終了予定時刻を少し超過したものの、滞りなく終了することができました。

（生協本部 総務部次長／古村律子）



青森保健生協

2022年度 通常総代会



6月17日（金）、今年度は3年ぶりに会場をホテル青森に戻しつつも、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年同様に規模と時間を縮小した形式となりました。限られた状況ではありましたが、活発な質疑討論が行われ、すべての議案および特別決議が満場一致で採決されました。また、特別報告として「第6次中期事業構想（案）」が報告され、滞りなく終了することができました。（総務部長／坂野友昭）



八戸医療生協

2022年度 第34回通常総代会 ～共同の力で、いのち輝く社会をつくる～



6月24日（金）八戸市福祉公民館で第34回通常総代会を開催されました。昨年に引き続き、コロナ禍の下での開催となり、総代の皆様には感染対策へのご協力をいただき、無事終了することが出来ました。第10号までの議案は、書面議決も含めた145名の総代によって全て承認され、新しく選任された理事会のもと新年度が本格的に始まることになりました。

（組合員活動部

／佐々木美音緒）



30周年を迎え、新たな未来へ



5月25日（水）に第35回通常株主総会が本社会議室で開催されました。

事業活動計画では、患者・職員を新型コロナウイルス感染症から守りつつ民医連事業所として社会的使命を果たしていくこと、「かかりつけ薬局・薬剤師」として「健康サポート薬局」や「地域連携薬局」機能と連動させ機能別薬局制度への対応をしていくこと、また、後継者対策を最重点課題に位置付け役職員が一丸となって人づくりを進めていくことを確認しました。全議案とも満場一致で採択され、滞りなく株式会社ファルマの第35回通常株主総会は閉会しました。

（代表取締役／石川隆之）

一般社団法人あおもり健康企画

2022年度 社員総会

新町店閉局に伴い、外来・在宅患者への対応に万全を期します。

5月24日（火）本部会議室にて2022年度社員総会が開催されました。

2021年度決算は赤字を免れましたが、処方箋枚数減少と毎年の薬価引下げにより減収減益となったことが報告されました。

2022年度は診療所再編実施により、新町店の閉局が予定されていますが、外来・在宅患者への対応など、

ご不便をお掛けしないよう万全を期します。

調剤薬局の経営は全国的に厳しい状況が続きますが、県連への結集、青森側三法人の共同の取り組み、そしてコロナ禍でも役職員一丸となってこの危機を乗り越えることを確認し、提案された全ての議案は満場一致で承認され総会を終えました。

（常務理事／成田卓弥）

社会福祉法人・花

2022年度 第1回評議員会

6月18日（土）、「花の郷」多目的室で、令和4年度第1回評議員会を開催しました。決議事項では、令和4年度当初予算、令和3年度決算等を討議し、承認をいただきました。各評議員より、地域連携の協力や評議員として出来ることの手助け等、ありがたいお言葉を頂きました。最後に令和4年度は、事業活動で必要利益を確保し、資金収支での目標を達成することや全職員一体となって頑張っていくことが確認され閉会としました。

（本部統括長／鈴木哲也）



社会福祉法人・虹



職員総会

5月28日（土）社会福祉法人虹2022年度職員総会をアピオあおもりで開催しました。コロナ禍という事もあり感染対策を十分に実施しながら、職員26名と来賓1名が参加しました。西協理事長の開会あいさつに始まり、副田副理事長の全体報告の後、9つの事業所から2021年度総括と2022年度方針を報告しました。特に新型コロナウイルス発生に伴う取り組みが特徴的な総会となりました。最後にスローガンが読み上げられ確認後、職員総会を閉会しました。

（ショートステイ虹の郷 事務長／舩甚清仁）

第53回医師総会

県連内の取り組みを共有し、
医師ひとりひとりの思いに耳を傾けた3時間半

5月28日（土）午後、第53回県連医師総会をZoomにて開催し、医師53名を含む90名超の参加がありました。事前録画も含め、30名の医師から発言いただき、県連内の取り組みを共有し、各地で奮闘する医師ひとりひとりの思いを聞くことができました。

コロナ禍でオンライン形式に変更してから4回目の総会となりました。今回は、新入医師を歓迎することと、参加者が元気になれること、を意識して内容を検討してきました。

“県連全医師100ボイス”は今回で3回目。「あなたが大切にしていること」をテーマに上級医7名、新入医師10名のお話を聞きました。

県連内の人事交流、情報交換の機会に限られる中で、互いの診療の様子を知ることを中心に、新たに“きらっとひかる県連内の取り組み紹介”を位置付け、5つの部署・事業所から報告してもらいました（①「健生病院産婦人科の紹介と、弘大生と取り組んだパンフレット作成」、②「生協さくら病院の思春期外来の紹介」、③「健生黒石診療所の取り組みと総合診療の後継者育成」、④「藤代健生病院でのコロナ重点医療機関としての取り組み」、⑤「青森保健の在宅診療の紹介」）。いずれも大好評で、感想フォームには多くの称賛コメントが寄せられました。次回以降も継続することになりそうです。どうぞお楽しみに。

前回同様、総会の様子はYouTubeに限定公開していますのでぜひご覧ください。※共有は青森民医連の職員に限ります。

（健生病院 事務局次長／篠原奈緒）

青森民医連
医師総会NEWS No.16

2022年6月17日発行
青森民医連 第53期
医師総会発行No.16
発行：医師委員長 石田 晋吾
sotomatsu@doc.or.jp

第53回医師総会に90名超の参加

5月28日（土）開催した医師総会には、医師53名、看護・事務41名、計94名の参加があり、事前録画も含め31の発言・報告がありました。第51回総会から取り組み始めた“100ボイス”に加え、県連内の各事業所の“きらっとひかる”

取り組みにスポットを当ての報告を聞きました。医師同士の交流がしづなため、多様な取り組み、共有する機会と

あて、5つの事業所、部コロナ禍で事業所間、らい状況ですが、あらみがされていることをなりました。

“100ボイス”は、これまで同様『わたしが大切にしていること』をテーマに、7名の上級医・ペデラン医師から発言いただきました。また、新入医師10名にも協力いただき、若いからに元気をもらえるコーナーとなりました。感想フォームでは「もっと多くの先生の声を聞きたい」と継続を望む声も寄せられています。感想フォームに寄せられたご意見は次号にて紹介します。ご参加くださったみなさん、ありがとうございました。

医師総会の動画をYouTubeにアップしました！
URLを知っている人のみが見られる限定公開です。

第45期 全日本民医連総会運動方針学習会

～コロナ禍を乗り越え人権と公正の視点で前進しよう～

五月十三日（金）、オンラインにて第四十五期全日本民医連総会運動方針学習会を開催し、職員三百五十人が参加しました。講師には全日本民医連事務局長 岸本啓介氏をお招きし、「四十回総会方針概要に加え、反戦・平和、核兵器廃絶、憲法九条を守る運動」についてご講演頂きました。

コロナ禍ではありましたが、県連としてキックオフ集会的な位置づけでオンラインにて開催致しました。告知が遅くなりましたが、皆様へはご迷惑をおかけ致しましたが、急な呼びかけにもかかわらず多くの視聴者にご参加いただき、無事開催にこぎつける事が出来ました。



ロシアによるウクライナ侵略、前期より続いているコロナパンデミック等、世界の情勢が日々変化し複雑化している中で、私たち民医連職員は何を大事にして医療・介護活動の

実践や身に民医連運動を行っていくべきなのか？今後はどういった希望や展望、見通しを立てていけばよいのか？といった疑問に対して、総会方針を柱としつつも幅広く国内外の情勢も交えた講演を聴く事が出来、参加者が「共に学び、考え、行動する」ことを再確認できた学習会でした。

七月まで学習月間は続きます。引き続き全職員が学習教材などを活用して学んでいただけることを期待します。

（県連教育委員会 生協さくら病院

／佐々木良範）



2022年度 原水爆禁止国民平和進行

青森県の国民平和進行は6月5日（日）、青森市平和公園で北海道進行団から引き継ぎ、太平洋、日本海の2つのルートに分かれ、6日（月）から9日（木）まで取り組みました。横断幕やのぼりを持ちながら地域の声援を受けながら行進、各自治体と懇談もしました。



六月八日（水）、浅虫、平内町、六ヶ所村、横浜町、野辺地町の各地域で、宣伝カーを先頭に横断幕を掲げ平和行進を行い、「戦争反対」「原水爆禁止」をアピールしました。また、各役場で町長らと懇談し、核廃絶と憲法九条の必要性について訴えました。今年も天候にも恵まれ、昨年まで中止となっていた行進を無事行うこ

とができました。道行く方々の中には会釈や手を降ってくださいる方もおり、地域の方々と平和への思いを共有できたように感じます。ロシアによるウクライナ侵攻で、核使用が示唆される中、私たちは核廃絶のために何ができるかももう一度考えなければならぬと感じました。

（大野あけぼの薬局／平尾 悟）

◆太平洋コース

原水爆禁止と戦争反対を訴え行進

六月六日（月）から九日（木）に二年ぶりの国民平和進行が津軽地域で行われました。八日（水）浪岡から平川市へ渡る主線コースと西目屋村支線コースに分かれ行進しました。支線コースでは西目屋村役場と懇談をし、核兵器廃絶署名への協力依頼をしました。今年も前向きな返答は得られませんでした。青森県の署名協力自治体が増えるよう、今

後も継続的な懇談とアピールが必要だと感じました。九日（木）は弘前市から県内通し行進者と「核兵器のない平和で公正な世界を」と書かれた横断幕を持って行進し、矢立峠で青森から秋田へ無事引き継ぎました。初参加者も含め、核なき世界へのアピールを印象づける行進でした。

（津軽保健生活協同組合／下林夏希）



◆日本海コース

核兵器廃絶を目指し、地域や自治体へアピール行動

2022年
全日本民医連

新卒薬剤師 研修会



今年は全員ZOOMによる参加で、約七十人の新卒薬剤師の方々と一緒に研修を受けました。前半は全日本民医連副会長の

の根岸先生から、日本国憲法や民医連綱領についての講演をいただきました。その後、グループ内でそれぞれについての考えを話し合い、人権の大切さや公正な医療とはなにかを自分なりに改めて考えることができました。

後半は先輩薬剤師から、温かいメッセージとともに仕事でのアドバイスをいただきました。勉強のコツや一年目に心がけておくことなど、新卒の私たちにとって、大変勉強になるお話しでした。再度、グループ内で今の仕事の様子や新卒薬剤師としての悩みについての交流をしました。自分と同じ悩みや失敗体験を持つ人がいて、「お互いにもっと頑張ろう」と励ましあい、働く場所は違いますが同じ新卒薬剤師としての絆を感じました。

薬剤師としてまだまだですが、今回の研修を糧にして、同期の薬剤師とともに成長していきたいと思っています。
(あおもり協立病院 薬剤師／洪田通平)

男性トイレにもサニタリーボックス



5月より健生病院・健生クリニックの男性トイレにサニタリーボックス（汚物入れ）を設置しています。

LGBTQ※（性的マイノリティ）の方に対する人権問題から、当院においても対象者にとって生活しやすい環境づくりが必要と考えます。日本におけるLGBTQの割合は約3%～10%と言われ、患者含めた利用者に一定数の対象者がいると考えられます。

その中でもトイレの問題は日常的な行為であるため困難を抱える人が多いと聞きます。トイレ利用の際には性自認に沿ったトイレを希望する人も多く、当院の利用者が男性トイレにてサニタリーボックスを利用することも十分に考えられます。そのような人が安心して受診できるよう、男性トイレの全個室にサニタリーボックスを設置することとしました。

また、前立腺がんの術後や排尿障害がある人への配慮としても男性トイレにサニタリーボックス設置の動きは全国に広がっています。対象者が抱える様々な困難を少しでも解決するため出来る限り対応していきたいと考えています。
(健生病院 事務局長／泉谷雅人)

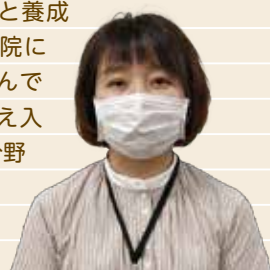
※LGBTQとは、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人）、クエスチョニング（自分自身のセクシュアリティを決められない、分からない、または決めない人）など、性的マイノリティの方を表す総称のひとつです。

県連事務局 人事往来

この2期4年間の入職医師は34名（新卒・既卒合わせて）、退職医師は16名でした。今年4月、県連所属医師は113名と過去最高となりましたが、地域の要求に応えながら、高齢化する医師集団の世代交代を進めることを考えると、十分とは言えません。

7月からは医師の確保と養成のセンターである健生病院に移りますが、民医連を選んでくれる医師と出会い、迎え入れるべく、引き続き医師分野にも関わります。

4年間ありがとうございました。



しのはら な お
篠原 奈緒
(青森民医連弘前事務所→健生病院事務局)

この度、県連出向・健生病院研修医室勤務となりました。初めての県連出向であり、右も左もわからない状態からのスタートですが、頑張ります。よろしくお願いいたします。

いずみや か
着任 **泉谷 はる香**

(健生病院医局医学生課→青森民医連弘前事務所)



2019年6月より津軽保健から出向し、帰任まであっという間の3年間でした。

コロナ禍で制限がかかることもありましたが、医学対活動を通して多くを経験させていただきました。奨学生をはじめ、将来が楽しみな医学生ともたくさん知り合えました。彼らが青森民医連へ入職することを楽しみにしながら帰任先でもがんばりたいと思います。ありがとうございました。



みやこし いずみ
帰任 **宮腰 和実**

(青森民医連弘前事務所
→健生病院健診科)

私の三つ星★★★★

オススメ

青森で食べることができる 沖縄の味！

青森市内にニィニィ（兄貴）が作る沖縄料理屋さんがあります。このタコライスは金賞を受賞しているそうです！お店の中には沖縄から直送している海ブドウが入った水槽や三線の奏でる音楽が…♪ 一歩足を踏み入ると沖縄に到着です。タコライスの他にも沖縄そばやソーキそば、ゴーヤチャンプルーなどなど。テイクアウトも出来るので、お家でも沖縄気分を味わえます。今年の5月、沖縄返還50年で、朝ドラの舞台も沖縄です。新型コロナウイルスの影響で、実際に沖縄に行けるようになるにはまだ少しかかりそうですが、お店やお家で沖縄気分を味わうにはオススメです！

NI-NI長島店のタコライス



（青森保健生協 組織部／青山美奈子）

オススメ

ラーメン処 花いちばん

青森県南部町沖田面にあるラーメン屋さんです。店内はカウンター・テーブル・小上がりがあり、お昼時になると家族連れの方から近所のおじいちゃんおばあちゃんまで、幅広い客層の方々に賑わう地域に愛されるお店です。一番人気のメニューは「納豆味噌ラーメン」です。着井時にお店のお母さんが「食べたことありますか？初めてですかあ？」と優しく食べ方を教えてくれます。表面をカリッと焼いた納豆とたっぷりの野菜、中太の麺に味噌を力強く感じるスープが良く絡み食べ応え抜群です。個人的には絶妙な辛さの「辛味噌ラーメン」も推し

です！食後に人と会う予定の無い方や明日はお休みという方は卓上

のおろしにんにくを加えてどうぞ！食べた瞬間からみなぎる事間違い無いでしょう。

さて、次の休日は「花いちばん」でみなぎって来ようかな♪

（生協看護小規模多機能ホーム虹の家／元沢勇太）



2022年7月 7月 第3回理事会報告

>> 全日本民医連理事会報告関係

>> 決裁事項

看護学生奨学生 辞退の提案

第45期全日本民医連 部員・委員の委嘱要請（第5次）

紹介医師アウトソーシング採用費用の提案

2022年度初期・入職1日目研修開催要項

第51回看護介護活動交流会開催の提案

県連ケアマネージャー研修会開催について

全国青年ジャンボリー実行委員の提案

>> 医師委員会関連

>> 協議事項

第56期委員会体制・諮問事項について

2021年度決算調査報告

テレビ会議システム終了の提案

政治と社会に関する問題意識アンケート

改憲発議を許さない！闘争本部報告

新型コロナウイルス対応について

>> 各種委員会

リハビリ技術者委員会

各種委員会報告・署名到達

>> 報告事項

全日本民医連通達・声明、地協関係

7/23県社保協総会

>> 各法人・事業所報告

総会・総代会報告（役員改選・重点課題）

あなたと民医連をつなぐ月報誌

いつでも元気
MIN-IREN

2022 7月号 380円

好評発売中

9条で国を守れるのか

けんこう教室 健康診断で分かること

避難所の^TKB。長野

うちでも元気 体操&脳トレ

まごのチカラ 神奈川県葉山町

食と健康 簡単ヘルシーおつまみ

発行＝青森県医師会 発行所＝〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5642)5656 FAX 03(5642)5657

